



寄付つき商品のご紹介

お買いものをしていただくと、その売上げの一部がさぽーとほっと基金に寄付され、町内会やボランティア団体、NPOなどが行う、札幌のまちを笑顔にする活動に役立てられます。



ブーツやシューズで子どもたちを支援

深瀬商事株式会社 様

婦人靴やバッグなどを販売する深瀬商事株式会社様では、寄付つき商品用の靴を開発され、その売上げの一部を「子どもの健全育成」の分野を指定してご寄付いただいております。



【取扱店舗】
UNISON WITH STELLAR PLACE店/recolte アピア店/little walk to a parkイオン発寒店・マルヤマクラス店/BOSTONイオン札幌手稲駅前店

「寄付つきドリップカフェ」で福祉分野に継続した支援を展開

株式会社宮田屋珈琲 様

株式会社宮田屋珈琲様では、1個の売上げごとに1円がさぽーとほっと基金に寄付される仕組みの商品「寄付つきドリップカフェ」を、各店舗で販売していただいております。



オレンジリボンキャンペーンを通じた子どもたちへの支援

ポッカサッポロ北海道株式会社 様

ポッカサッポロ北海道株式会社様では、「子ども虐待防止オレンジリボン運動」を応援しており、同社の自動販売機の売上げの一部を「子どもの健全育成」の分野を指定してご寄付をいただいております。



「さっぽろール®シリーズ」でまちづくりの推進を支援

株式会社HYK 様

株式会社HYK様は、北海道産ゆめぴりかを100%使用した米粉のまどれーぬ®などを販売しており、「さっぽろール®シリーズ」米粉のロールケーキの売上げの一部をさぽーとほっと基金へご寄付いただいております。また、令和3年度より「さっぽろまちづくりスマイル企業認定制度」の認定企業となっております。



「地元の魅力を世界へ」食からまちづくりを支援

株式会社APR TRADING 様

株式会社APR TRADING様は、札幌の魅力を世界に発信するグローバルカンパニーAPR GROUPの企業です。同社が販売している「さっぽろヒトとき。～まちのスペシャリティーコーヒー～」の売上げの一部をご寄付いただいております。



【取り扱い店】（※令和6年10月時点）
狸小路4丁目 たぬきや/羊ヶ丘展望台/ONIYANMA COFFEE & BEER

施設見学で子どもの健全育成を図る活動を支援

雪印メグミルク株式会社 様

雪印メグミルク株式会社様はさぽーとほっと基金初の“スポット訪問型”寄付のしくみを確立していただきました。この取組は同社が運営する「酪農と乳の歴史館」の来場者数に応じた金額を、翌年さぽーとほっと基金に「子どもの健全育成」の分野を指定して寄付いただいております。



みなさまの寄付で

まちづくりを応援する仕組み

さぽーとほっと基金

令和5年度年報



発行 札幌市市民文化局市民自治推進室市民自治推進課

TEL:011-211-2964 FAX:011-218-5156

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎13階

E-mail:shimin-support@city.sapporo.jp

https://www.city.sapporo.jp/shimin/support/kikin/

さぽーとほっと

検索



さっぽろ市
01-002-24-2100
R6-1-145

札幌市

札幌市のまちづくり活動に
多大なるご支援・ご協力をいただき、
本当にありがとうございます。

令和5年度のさぽーとほっと基金は、これまでと同様に多くの市民や企業の皆様から善意のお気持ちをいただき、まちづくり活動の支援に役立てることができました。
平成20年度の創設より多くのご寄付を継続的かつ安定して
いただいております、皆様のご協力に心から感謝申し上げます。
市民、企業、行政の総力である「市民力」を結集し、心豊
かで明るい札幌を将来の世代に引き継いでいくために、
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

札幌市長 秋元 克広



みんなで札幌のまちづくりを応援する
寄付の仕組みがあります

さぽーとほっと基金は、市民・事業者の皆様の寄付によって、福祉や子育て、環境の保全、安全・安心、被災者支援など札幌のまちづくり活動を支援する制度です。



まちづくりは“笑顔づくり”

「私のまち」を、今よりももっともっと好きになれるように、そしてまわりの人に好きになってもらえるように、いろいろな活動を行っている人たちがいます。それらの活動は、医療・福祉であったり、環境であったり、教育であったり、分野や取組の内容はさまざまですが、その活動はどれも「笑顔」があふれる社会につながっているのだと思います。もっと住みよいまちにするために、そして、もっとまちに笑顔があふれるように、まちづくりとは、そんな思いで行われるすべての活動だと考えます。

令和5年度 さぽーとほっと基金の実績

寄付

65,905,435円
1,519件

の寄付をいただきました。

助成

47,962,550円
130団体・139事業

の助成を行いました。

これまでのさぽーとほっと基金の実績 /

	平成20～29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累 計
寄付	874,201,410円	70,748,099円	126,552,662円	80,130,453円	69,168,404円	79,328,811円	65,905,435円	1,366,035,274円
	2,657件	387件	525件	402件	717件	1,561件	1,519件	7,788件
個人	743	234	279	292	622	1,439	1,428	5,037
企業・団体	1,674	129	225	88	74	100	91	2,381
助成	586,179,377円	67,278,042円	75,657,759円	66,746,680円	46,404,940円	49,907,162円	47,962,550円	940,136,510円
	947団体	139団体	153団体	132団体	100団体	130団体	130団体	1,731団体
	1,066事業	152事業	164事業	141事業	109事業	138事業	139事業	1,909事業

※複数回寄付をしてくださる個人・企業・団体がいらっしゃるため、寄付件数と個人・企業・団体別の寄付件数は一致していません（寄付件数は延べ）。

さぽーとほっと基金の仕組み

「さぽーとほっと基金」は、皆様の寄付で札幌のまちづくり活動を支える制度です。





札幌市では、市民まちづくり活動を応援するために、個人の方または企業様からいただいた一定額以上のご寄付に対し、寄付者のお名前等を冠した「冠基金」をさぼーとほっと基金内に設置しています。いただいたご寄付は、指定いただいた団体や公募により助成が決定した団体のまちづくり活動の事業費に、助成されています。

冠 基 金 名	基金設置年度	寄 付 者
武ダGEADこども未来基金	令和5年度	武ダGEAD株式会社 様 武友会 様
札幌生コンクリート協同組合こども育成基金	令和4年度	札幌生コンクリート協同組合 様
株式会社宮川建設こども基金	令和4年度	株式会社宮川建設 様 宮友会 様 株式会社宮川建設安全衛生協力会 様
あおぞら銀行札幌支店60周年記念 まちづくり応援基金	令和4年度	株式会社あおぞら銀行札幌支店 様
さくら佐藤建設株式会社 夢 みんなのまちづくり応援基金	令和2年度	さくら佐藤建設株式会社 様
札幌日信電子 50th まちづくり応援基金	令和2年度	札幌日信電子株式会社 様
北ガス 札幌市を元気に!まちづくり応援基金	令和2年度	北海道ガス株式会社 様
北央道路工業株式会社 地域あんしん基金	令和元年度	北央道路工業株式会社 様
エスエー こども応援基金	令和元年度	有限会社エスエービル 様
北電力設備工事(株)60周年記念 まちづくり基金	令和元年度	北電力設備工事株式会社 様
道路工業株式会社 夢クリエイト基金	令和元年度	道路工業株式会社 様
「あなたが健康だと、だれかがうれしい」健康応援基金	令和元年度	SOMPOひまわり生命保険株式会社 様
あいおいニッセイ同和損保 環境基金	令和元年度	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 様
「安田・三兼」まちづくり応援基金	平成30年度	安田興業株式会社 様 三兼建設工業株式会社 様
長内 芸術振興基金	平成30年度	長内 様
新弘設備工業55周年記念 まちづくり基金	平成30年度	新弘設備工業株式会社 様
株式会社水章工業 こども基金	平成29年度	株式会社水章工業 様
さくらマネジメントグループ基金	平成29年度	税理士法人さくら総合会計 様 株式会社さくら総合会計M&Aセンター 様 道央情報サービス協同組合 様 エス・バイ・エス事業協同組合 様 庵原 宏章 様 庵原 律子 様
アリヤス基金	平成29年度	株式会社アリヤス設計コンサルタント 様
北海道循環器病院 子どもさぼーと基金	平成28年度	大堀 克己 様
太陽グループ3億円基金	平成28年度	株式会社太陽グループ 様 東原 俊郎 様
株式会社フォルテック100周年記念こども基金	平成28年度	株式会社フォルテック 様 フォルテック協力会 様
札幌クリーニング協同組合環境美化基金	平成28年度	札幌クリーニング協同組合 様
アサヒ住宅福祉応援基金	平成27年度	アサヒ住宅株式会社 様
HRMホールディングスグループまちづくり応援基金	平成27年度	HRMホールディングス株式会社 様 北海道ロードメンテナンス株式会社 様 ロード機工株式会社 様 北海道ロード運輸株式会社 様 大善建設株式会社 様 ダイワ整備機工株式会社 様
札幌市管工事業協同組合あんしん基金	平成27年度	札幌市管工事業協同組合 様
明日佳グループ スポーツ振興基金	平成27年度	明日佳グループ株式会社 メディカルサポート 様 小野寺 眞悟 様
オークまちづくり元気基金	平成26年度	株式会社オーク 様 酒井 和子 様

冠 基 金 名	基金設置年度	寄 付 者
ひまわりピアサポート基金	平成26年度	木村 邦弘 様
小金湯さくらの森支援基金	平成25年度	札商・小金湯さくらの森募金協力会 様
北海道自転車産業協会まちづくり基金	平成25年度	財団法人北海道自転車産業協会 様
工藤桂一まるやま動物園応援基金	平成24年度	工藤 桂一 様の遺産
松前孝子こども基金	平成24年度	松前 孝子(こうこ) 様
CGCこども基金	平成22年度	株式会社北海道シジシー 様
イオン環境基金	平成22年度	イオン北海道株式会社 様 マックスバリュ北海道株式会社 様 株式会社ダイエー 様 株式会社メガスポーツ 様

基金を活用して社会貢献に取り組む 企業・団体

地域とともに成長していく、企業・団体価値を高める
社会貢献活動を目指して

企業や団体の社会的責任が強く問われるようになった現在、社会貢献活動は、単なる慈善事業を越えて、事業者が地域とともに持続・発展していくために必要不可欠な「本業」の一つとなりつつあります。ここでは、地域とともに成長する企業・団体を目指して、さぼーとほっと基金への寄付を通じて社会貢献活動に取り組んだ事例を紹介します。



👑 オークまちづくり元気基金 👑 地域とともに札幌のまちを元気に 株式会社オーク 様



公共施設・商業施設等のボイラー及び圧力容器定期検査、整備工事、暖房設備及び各種配管工事など、高い技術力で道内全域をカバーする株式会社オーク様には、これまでも福祉や地域のまちづくり活動に様々な形でご支援をいただいておりますが、亡くなられた株式会社オーク代表取締役会長の故酒井常雄様の財産を、地域社会発展のために役立ててほしいという思いから、さぼーとほっと基金にご寄付をいただき、平成26年度に冠基金「オークまちづくり元気基金」を設置していただきました。その後も継続してご寄付をいただいております。主に西区で行われるまちづくり活動へ助成させていただきます。

👑マークは、冠基金です。

👑 HRMホールディングスグループまちづくり応援基金 👑

みちでふれあうまちづくり

HRMホールディングス株式会社 様 北海道ロードメンテナンス株式会社 様
ロード機工株式会社 様 北海道ロード運輸株式会社 様
大善建設株式会社 様 ダイワ整備機工株式会社 様



HRMホールディングス株式会社様は、私たちの生活基盤となっている道路を、より快適に利用できるようにと、道路維持のプロフェッショナルとして事業を行われています。
日頃から小学校と連携し交通安全運動などを行っており、平成27年度に設置いただいた冠基金「HRMホールディングスまちづくり応援基金」への追加のご寄付を通じて、継続してまちづくりを支援いただいています。

👑 武ダGEADこども未来基金 👑

次世代を担うこどもたちが健やかに育ってほしい

武ダGEAD株式会社 様 武友会 様



武ダGEAD株式会社は「ひとづくり」と「まちづくり」を大切に、事業経営業と総合商社業に軸足を置きながら総合建設業、保育業やIT業など多岐にわたる業種で事業を展開されております。その中でも保育業に対しては、次世代を担うこどもたちが健やかに育ってほしいという「ひとづくり」への強い思いを持って事業を推進されており、こどもたちへの支援活動を応援したい思いから、さぽーとほっと基金へご寄付いただき、令和5年度に「武ダGEADこども未来基金」を設置されました。

👑 「安田・三兼」まちづくり応援基金 👑

こどもたちの健やかな成長を支えたい

安田興業株式会社 様 さんかね 三兼建設工業株式会社 様



土木工事や舗装工事、水道施設工事などを手がける安田興業株式会社様と三兼建設工業株式会社様は、平成30年度に安田興業様が創業55周年、三兼建設工業様が創業30周年を迎えたことを契機として、冠基金「安田・三兼」まちづくり応援基金を設置されました。
このご寄付は、市民活動を応援する思いから、「まちづくりの推進」分野の事業に助成いただいております。
今回、冠基金に追加のご寄付をいただきました。

👑 札幌生コンクリート協同組合 こども育成基金 👑

こどもたちの健やかな育成を支えたい

札幌生コンクリート協同組合 様



確かな品質の生コンクリートを提供するため、共同受注・共同販売により安定供給を行っている札幌生コンクリート協同組合様は、設立50周年を記念し、地域貢献の活動として、子ども食堂や子どもの居場所づくりなど、子どもの健全育成に向けた市民活動を応援したいとの思いから、さぽーとほっと基金へご寄付いただき、「札幌生コンクリート協同組合 こども育成基金」を設置されました。
地域に暮らす子どもたちの健やかな育成のために、生コンクリート出荷量1㎡に対して1円を、今後も継続してご寄付をしてくださるご意向です。

👑 札幌市管工事業協同組合あんしん基金 👑

水環境の保全を通じたまちづくりを支援

札幌市管工事業協同組合 様



札幌市管工事業協同組合様は、水道管の維持管理業務を行っており、水環境の保全やライフラインの確保など、安全・安心への思いから、平成27年度に設置いただいた「札幌市管工事業協同組合あんしん基金」に追加のご寄付をいただきました。
また、さっぽろまちづくり活動情報サポートサイト「まちさぽ」内に設置している、さぽーとほっと基金へのクリック募金にも令和3年4月からご参加いただいております、追加でご寄付をいただきました。

👑 株式会社宮川建設こども基金 👑

こどもたちの幸せな暮らしを願う

株式会社宮川建設 様 宮友会 様 株式会社宮川建設安全衛生協力会 様



ビル・マンション・商業施設・医療福祉施設などの建築受注、大規模修繕・リフォーム工事などを手がける株式会社宮川建設様、協力会社の交流促進を目的とする宮友会様、建築工事の災害防止、教育訓練、広報活動を行っている株式会社宮川建設安全衛生協力会様が、宮友会 設立50周年にあたって令和4年度に設置いただいた「株式会社宮川建設こども基金」に追加でご寄付いただきました。

👑 札幌日信電子50thまちづくり応援基金 👑 地域貢献として市民活動を応援 札幌日信電子株式会社 様



札幌日信電子株式会社様は、札幌地下鉄の信号保安装置および駅務機器の保守などを行い、公共交通機関の安全を支えています。
会社創立50周年を迎えるにあたり、札幌市への地域貢献として、市民活動を応援する思いから、「札幌日信電子50thまちづくり応援基金」を設置され、このたび追加のご寄付をいただきました。

文化芸術の振興と次世代の育成を広く支援 株式会社セコマ 様



株式会社セコマ様は、平成23年7月26日に札幌市と締結した「さっぽろまちづくりパートナー協定」に基づき、さぽーとほっと基金を通じて市民まちづくり活動団体を支援するため、継続してご寄付をいただいております。今回で14回目のご寄付となり、子どもたちの健全育成の取組や医療・福祉の推進、文化芸術の振興などを支援しております。
さぽーとほっと基金への寄付以外にも、幅広い活動に取り組んでおります。

👑 株式会社水章工業 こども基金 👑 こどもたちの健やかな育成を支えたい 株式会社水章工業 様



株式会社水章工業様は、創業以来培ってきた技術と稼働力をもとに、主に札幌市内の水道トラブルへの対応を行っております。
株式会社水章工業様は様々な地域貢献活動を行っており、札幌市内に住む子どもの健全育成のため「株式会社水章工業こども基金」を設置され、継続してご寄付いただいております。

安心して暮らせる地域を目指して 鹿島舗道工業株式会社 様



土木工事・舗装工事・水道施設工事・とび土工事などを行っている鹿島舗道工業株式会社様は、本社を構える南区を中心に、以前から地域の防犯活動などを実施されてきました。平成25年度からは、さらなる地域貢献の一環として、市民まちづくり活動に対して広く支援を行いたいとのことから、さぽーとほっと基金へ継続してご寄付いただいております。

地域に根付いた活動団体や子ども達の育成を応援したい 株式会社エネサンス北海道 様



エネサンス北海道様は、高圧ガス製造販売業、電気事業、リフォーム事業などを手がけ、生活関連分野のトータルコーディネーターとしてエネルギーの安定供給と安全安心な地域社会を作っています。
地域に根付いた活動団体や、子ども達の健全な育成を応援したいとの思いから、さぽーとほっと基金にご寄付いただきました。

エネサンスグループ
コーポレートキャラクター



従業員一人ひとりが「地元」に想いを届ける 明治安田生命保険相互会社 札幌支社 様

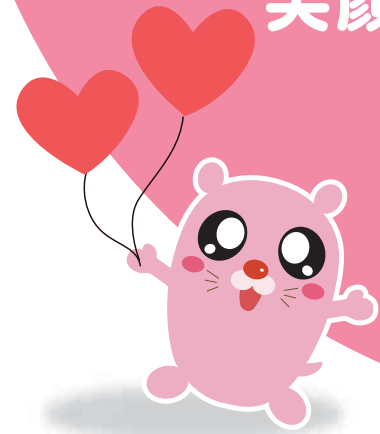


明治安田生命保険相互会社様は、健康増進を応援する「みんなの健活プロジェクト」、豊かな地域づくりへの貢献をめざす「地元の元気プロジェクト」、これらの「2大プロジェクト」の一環として、従業員一人ひとりが「地元」に想いを届ける「私の地元応援募金」に取り組まれております。
この取組から、こどもの健全育成のために、さぽーとほっと基金にご寄付いただきました。

助成金交付実績

多くの方の寄付に支えられ、
“笑顔づくり”に向けた活動が
多様に展開

皆様の寄付をもとに基金の助成金を
受けて実施されたまちづくり活動を
事業ごとに紹介します。



〈掲載例〉

助成団体名	
助成金額	助成事業の紹介文
写真	

団体指定

白石区ふるさと会歴史文化委員会

助成金額 1,963,958円



白石郷土館展示等計画事業

歴史資料展示スペース「白石郷土館」では、既存史料や自ら収集した一次史料に基づいた成果物を公開しています。白石区役所の開庁時間に合わせて開館していますので、皆様のご来館をお待ちしています。

助成金額 986,909円



児童誌発行事業

白石区内の小中学校の児童・生徒が制作した作文、詩、絵画等を掲載した「児童・生徒創作広場白石テラス「ななかまど」」の第3号を発行し、区内の小中学校、児童会館、図書館に配布しました。

助成金額 653,163円



さっぽろ白石片倉鉄砲隊設立検討事業

白石市の片倉鉄砲隊本隊の事業に合わせ、当隊隊員を派遣し発砲演武の習得と向上に努めました。また、本隊員2名を招聘し、4年ぶりに開催された白石ふるさとまつりで発砲演武を行いました。

しんぐるまざあず・ふぉーらむ北海道

助成金額 371,615円



ひとり親世帯支援事業個別相談支援、聴きあう会、ひとり親応援セミナー

ひとり親のライフプラン、子どもの教育費についてセミナーを開催しました。お子さんの年齢に合わせて準備の方法や就学支援、奨学金について知ること、子どもの選択肢も広がります。否定されずに話せる聴きあう会も大切な場です。

助成金額 205,794円

ひとり親世帯等の振袖思い出づくり

家庭や経済的な事情により振袖を着ていない方に、手ぶらで参加して振袖を着て、記念の写真撮影をして思い出をつくるお手伝いをします。沢山の振袖の中から自分の好きな着物を選び、メイク・ヘアセットをして撮影します。



特定非営利活動法人ぐるー一ぼ・ぴの

助成金額 400,000円



冊子「地域と人の歴史を紡ぐー地域を知ろう!」作成事業

中央地区第8町内会は事業所会員と住民会員が混在しており、相互理解を進めていくために事業所会員が業務内容を語る講演会を開催しその内容をまとめた冊子「地域と人の歴史を紡ぐー地域を知ろう」を発行しました。

助成金額 11,350円

西野子ども食堂kao kao手品を見る会

西野子ども食堂kao kaoは食事をするだけではなく、食事以外の楽しみの場として工作、音楽会、外遊び等毎回行事を行っており、その一環として手品をやったことにしました。



団体指定

一般社団法人 札幌市小動物獣医師会

助成金額 3,945,502円



「人と動物が共生する社会の実現」を目指した実践活動

「札幌市動物の愛護及び管理に関する条例」第5条を実践する団体として、当会は広く市民に動物愛護精神を涵養する事を事業目的としています。特に「飼い主のいない猫の保護活動」を軸に、動物愛護・動物福祉を考えるきっかけにしたいと考えています。

北海道少年軟式野球連盟

助成金額 3,000,000円



太陽グループ杯争奪全道少年軟式野球選抜大会

第30回を迎え、今回で最後の太陽グループ杯全道大会となりました。開会式では全道から代表16チームの立派な入場行進と株式会社太陽グループ東原会長による始球式と30年の功績に対し、感謝状を贈呈いたしました。

特定非営利活動法人 猫と人を繋ぐツキネコ北海道

助成金額 1,200,000円



えぞねこまつりinチカホ

札幌市の中心地にある札幌市地下歩行空間内で保護猫活動周知のイベントを行いました。チャリティグッズ販売、サンプルフード・パンフレット配布を通して団体の活動を知っていただくきっかけになったと思います。

札幌市学童保育連絡協議会

助成金額 769,898円



春休み学童保育観劇会

進級、進学を控えた春休みの子どもたちが一人ひとり自分の節目と向き合い、劇を楽しんだり体を動かす中で自身の成長を実感できることを願い、劇団風の子北海道の協力を得て参加型の演劇鑑賞を行いました。

特定非営利活動法人 環境り・ふれんず

助成金額 500,000円



桑園住民交流まちおこし事業

桑園地区の暮らしに役立つYouTube動画「桑園チャンネル」を毎月定期配信(年12回)したほか、リユース着物を整理するボランティア活動(毎週木曜)やリユース着物市、きもの撮影会・茶話会を開催し住民交流を行いました。

北海道容器包装の簡素化を進める連絡会

助成金額 500,000円



容器包装の簡素化を進める啓発事業

札幌市役所やイオンモール札幌苗穂など、市内8カ所で容器包装の簡素化展示や市民アンケート、プラスチックごみ削減の勉強会を行い、多くの市民へごみ減量及び資源の節減につながることを伝えることが出来ました。

琴似中央小学校KTハーモニー

助成金額 500,000円



地域文化(音楽)振興活動

琴似中央小学校KTハーモニーは、八軒中央連合町内会や八軒商店会が主催する各種コンサートやイベントで金管楽器による演奏活動に取り組んでいます。最近では卒業生や保護者、地域の皆様と一緒に演奏する取組も広がってきています。

NPO法人わんハート 尊い命達と共に

助成金額 385,400円



札幌市の犬・猫が幸せになり、札幌市民と楽しく暮らせる世の中を目指す活動

札幌市で放棄される犬や猫が多くなっている。保護犬や保護猫の現状を理解し命の大切さを考え、動物愛護や動物福祉を広めていく。また、犬・猫の救済と小学校の総合的な学習や子ども食堂での講演などで啓蒙活動を行っている。

宮の森盆踊り同好会

助成金額 363,487円



宮の森大倉山地区納涼盆踊り

昭和29年頃、宮の森十二軒稲荷のお祭りで近隣農家が盆踊りを始めました。その後、会場を移りながら続けられ、昭和46年に本同好会が発足、昭和54年からは北海道神宮駐車場で8月14日から3日間行っています。

特定非営利活動法人 北海道ライフスポーツ推進協会

助成金額 356,000円



らいすぽクロカンフェスティバル2024

冬期間の運動として取り組み易い「歩くスキー」を通じて健康増進を図る企画を開催し、多くの方に参加いただき目的を達成する事ができました。ご支援いただいた皆様、運営委員会の皆様に感謝申し上げます。

NPO北海道ネウボラ

助成金額 305,000円



NPO北海道ネウボラにおける札幌市版ネウボラ活動を広く市民へ知らせるための情報提供

本団体の取り組みフィンランドネウボラの理念であるこどもを中心とした社会づくり、こどもの人権についての周知啓発のための広報情報を発信させていただきました。

特定非営利活動法人 手と手

助成金額 300,000円

農業や肥料に頼らない自然栽培講座

近年アレルギーなどが増えています。そこで市民の方を対象に農業や肥料に頼ることなく野菜を作ることができる自然栽培講座を開講しました。自分で野菜を作る楽しみ、環境や食べ物に対する考え方が学べると反響も大きく継続しています。



子育て支援ワーカーズぐるんぱ

助成金額 274,648円



0才からのジャズライブ♪ 2023

子育て中はなかなか経験できない生のステージを楽しんでほしいと前年に引き続き開催、0才〜7才まで125名の来場者で盛り上がりました。大人も子どもも一緒に演奏を楽しめたという喜びの声が多く聞かれました。

holoholo

助成金額 256,085円



大人も子どもも心のケア：ピアサポート&ワークショップ

DV被害にあった女性と子どもの回復を支える活動をしています。本事業では、DVを経験した子どもたちのためのワークショップ「ジュニアプログラム」、トラウマを抱えた女性たちが自分の力を感じるためのエクササイズプログラム「レジリエンスファイト」等を実施しました。

NPOピーチハウス 女性と子どもの元気の輪

助成金額 240,827円



NPOピーチハウス20周年記念講演会 ～みんなちがってここに～

これまで活動を継続できた感謝を伝えるため、「性の多様性から『じぶん』について考える」講演会を開催しました。参加者からは「人権について改めて支援、自分の当たり前を振り返ることになった」など、好意的な感想が聞かれました。

特定非営利活動法人 SEMIさっぽろ

助成金額 200,000円



札幌在住外国人への医療通訳派遣事業

札幌市内の医療機関に受診する外国人に同行して医療通訳を行っています。様々な診療科で、診察や検査、会計や薬局での薬の受取など、多岐に渡る支援を行い、異国で病院にかかる際の心強いサポーターになっています。

特定非営利活動法人 モエレ沼公園の活用を考える会

助成金額 151,000円



モエレ沼公園ギャラリートーク

建築家を講師に迎え、ギャラリートークを開催しました。イサム・ノグチ最大の遺作であるモエレ沼公園の成り立ちや、芸術的な意味、価値観を掘り下げ伝え、市民の知的関心に応えるとともに、モエレ沼公園の利活用を促進しました。

特定非営利活動法人 藻岩山きのご観察会

助成金額 150,000円



菌類普及啓発事業

野生のきのこを、食中毒を起こさず、安心安全に美味しく食べていただくことを目的に、きのこ展を開催。来場者に「きのこを知って楽しもう!」とわかりやすく解説し、森林生態系の中でのきのこが果たす役割をお話ししました。また、星野農学博士による講演会も開催しました。

定山溪沿線町内会連絡協議会

助成金額 274,160円



「小金湯さくらの森」と周辺地域の知名度向上事業

令和5年度、南区地域の児童会館3箇所（常盤・藻岩・澄川小ミニ児童会館）と石山地区敬老団体（石山サロン）において新しい紙芝居「ののとおオムラサキ」の読み聞かせ会を行い、知名度アップと魅力を伝えることが出来ました。

特定非営利活動法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

助成金額 250,000円



「学びと成長支援必要児童及び保護者への居場所サポート」

「自由が丘」は子ども達の学びと成長を支援しています。週末型居場所は、小中学生・若者向けの「お家」と親向け「カフェ」を毎月各2回開催。通算44回、のべ270名受入れ、相談・交流・学習・調理などを展開しました。併せて、スタッフ研修や他団体との協力も進めています。

アマチュアバンドコミュニティさっぽろ

助成金額 214,395円



まちを元気にするコンサート2023

地域の老人クラブやマンション住民組織、公的施設のイベントや町内会のお祭りなど、たくさんの方に、生の音楽をお届けしました。地域の方がいつもの場所で音楽を楽しむことで、まちが元になりました。

特定非営利活動法人 北海道若年認知症の人と家族の会

助成金額 200,000円



「ひまわり通信」の発行

道内の若年認知症の人と家族の交流や理解促進、医療・介護制度の充実等を通じて地域社会の福祉の向上に寄与することを目的として諸団体と交流しながら活動しています。通信で紹介している家族の体験を冊子にしました。

特定非営利活動法人 北海道ダルク

助成金額 150,000円



第19回 NPO法人 北海道ダルク フォーラム

北海道ダルクは薬物依存者に、身体的、精神的、社会的援助を提供することによって薬物依存からの回復を手助けしています。しかし、回復の過程や姿は普段市民が目にすることはありません。そこでダルクフォーラムを開催することが薬物依存症からの回復の姿を市民の皆様知ってもらふ大切な機会であると考えております。

特定非営利活動法人 北のごみ総合研究所

助成金額 140,180円



ごみ減量「元気なうちに3Rでお家を片付けよう」推進事業

桑園SDGs環境ひろばにて、お家のお片づけ及びごみ減量相談窓口を開設し市民の相談を直接受け、勉強会講師の派遣やお片付けの啓発パネル展示を行いました。

NPO法人つなぐ

助成金額 122,499円



しらカバーたいむ2023 [JUN September Live]

地域の方に元氣になってほしいとの思いから、札幌を中心に活動するシンガーソングライターJUNさんによるライブを開催。オリジナル曲や来場者のリクエスト曲などが披露され、温かな歌声と飾らないトークに、皆が引き込まれ、涙する人も。心が通い合う素敵な時間となりました。

障がい当事者講師の会すぷりんぐ

助成金額 100,000円



障がい当事者講師によるパソコン講座

株式会社セコマ様よりご助成をいただき「障がい当事者講師による無料パソコン講座」を開催させていただきました。パソコンが使えることで社会に繋がることができるようになる目的で障がいのある方へのパソコンを指導しました。

札幌厚別子ども劇場

助成金額 47,000円

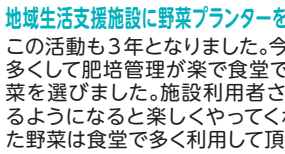


札幌厚別子ども劇場 音楽のおくりもの～アンサンブル奏楽コンサート～

子どもとその保護者に、音楽鑑賞を通じて芸術を学び感性を鍛える機会を提供したいと、札幌在住の演奏家4人によるコンサートを開催し、客席は感動で一杯になりました。また、市民の方に向けて、チラシや展示で私たちの活動内容知っていただく機会にできました。

特定非営利活動法人 みどりのオアシス・サポートクラブ

助成金額 30,000円



地域生活支援施設に野菜プランターを設置する活動(継続)

この活動も3年となりました。今年は葉物野菜を多くして肥培管理が楽で食堂で利用しやすい野菜を選びました。施設利用者さんは収穫が出来るようになると楽しくやってくれました。収穫した野菜は食堂で多く利用して頂きました。

特定非営利活動法人リカバリー

助成金額 20,000円

それいゆマルシェ2023

当法人のカフェにて、石狩郡当別町の農家と育てた野菜の販売や調理して食事を楽しみながら交流を深めるイベントを開催しました。また、「しんぐるまざあず・ふぉーらむ北海道」と協力しひとり親世帯を招待し、野菜や食事を無償で提供しました。



特定非営利活動法人 北海道スノースポーツアカデミー

助成金額 1,043,087円

スキーチャレンジ

ニセコヒラフスキー場にて、札幌市内のジュニアアルペンスキー選手を中心に、総勢62名が参加しました。日本代表の選手やコーチにもご参加いただき、参加者とゲスト選手とが、交流を深めながら速さを探求する楽しさと心を育てることができました。

こども食堂「もくきち」

助成金額 100,000円



こども食堂「もくきち」の運営

「もくきち」では、人と人との繋がりを深めることを目的として、毎月第4木曜日に大学生ボランティアの協力を得て「こども食堂」を開催しています。今後も、こども達の笑顔のため頑張りますので、応援よろしくお願いします。

特定非営利活動法人 勇者の会

助成金額 90,000円



国際小児がんデー啓発活動

「国際小児がんデー」とは、小児がんについての正しい理解や、がん患者やその家族など々と向き合う人々への理解を広める、世界共同のキャンペーン活動です。当会では、毎年2月15日の「国際小児がんデー」にあわせ、3日間の啓発活動を行いました。

非営利活動法人演劇鑑賞会北座 (通称札幌えんかん)

助成金額 36,980円



TOKYOハンバーグ「へたくそな字たち」[えんかんサロン]

夜間中学を舞台にした演劇作品の作者・大西弘記さんから、夜間中学の学びについてお話をいただき、当会が市立星友中学校を訪問した結果を報告しました。夜間中学の生徒と学びがみえてきて、先生と生徒の熱意を感じ、応援する気持ちが作られました。

桑園あそびばプロジェクト

助成金額 28,000円



桑園ご近所みちあそび

桑園地域でのご近所交流とこどもの自由な外遊び環境への理解のため、道路を活用した遊び場を開催しました。様々な遊びをする他、町内会の行事を受け入れたり花火を楽しんだりして地域交流を行えました。

重複聴覚障害者と高齢ろうあ者の在宅福祉を考える会「とも」

助成金額 17,000円



手話で繋がろう市民の輪

近年、高齢者の孤独死が増えています。耳が聞こえず話せない方はなかなか周りや円滑にコミュニケーションできません。聞こえないために不便なことが困っていることを知り、手話の挨拶や歌にチャレンジいただく市民講座を開催しました。

特定非営利活動法人おやふるはうす

助成金額 750,000円

農業体験・教育福祉事業 おやふるはうす

有機無農薬栽培による農業体験のため、市民農園を開放し、参加者には野菜の育て方等について丁寧に指導を行いました。また、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、夏祭りや収穫祭を開催し、枝豆やトウモロコシ、じゃがいも、トマト等の収穫体験などを行うことが出来ました。

札幌市少年軟式野球連盟

助成金額 400,000円 第18回TAIYO GROUP旗争奪少年野球大会

野球を通じて、青少年の健全育成を図ることを目的に、第18回TAIYO GROUP旗争奪少年野球大会を開催しました。
3日間の日程で、市内10区129チームの代表24チーム(約600名)が参加し、トーナメント方式で試合を行いました。多くの市民や少年野球ファンが応援に訪れ、大会は大変盛り上がりしました。

苗穂連合町内会

助成金額 300,000円 第11回サマーフェスタ苗穂&子ども盆踊り

苗穂地域及び近隣住民の方々を対象に、約2,000人の参加者が楽しみ、地域におけるコミュニティづくりを推進するとともに、住民相互の連帯感を生み出すことができました。特にラムネ早飲み大会や大抽選会では、来場者から大きな声援が飛び交うなど、会場全体が大きな盛り上がりを見せました。

特定非営利活動法人あかはなスマイルキッズ

助成金額 203,146円 子ども食堂事業

地域の会館及び活動拠点で子ども食堂を開催。子どもたちには学校と家庭の他に、第3の居場所として安心して過ごせる場所を提供するとともに、親には相談できないことも相談できる関係性を構築しています。

非営利型一般社団法人ねこたまご

助成金額 190,000円 行政収容される猫の保護活動の周知と動物福祉と動物愛護精神向上のためのイベント

中央区にあるBAN×KARA ZONE-HSにて、保護猫活動や動物愛護に関する講演、シニア猫のケアについての講演を行い、お子様からご高齢の方まで関心を持って聞いていただきました。

夏目のり子エンゼル会

助成金額 100,000円 夏目のり子エンゼル会

札幌市内の児童養護施設の子どもたちを、4年ぶりにさとらんどに招き、施設交流、野外レクリエーションを実施しました。美味しいジンギスカンを食べ、広い野原で遊んだり、ビンゴゲームで、大変盛り上がりしました。

大通地区社会福祉協議会

助成金額 63,500円 大通地区かくれんぼスタンプラリー

家族がスマホから認知症の高齢者、子どもなどの検索依頼ができる無料アプリを使ったイベントを開催しました。多世代での参加により、大人から子どもへ地域の歴史等の伝承がされたり、地域の危険場所の確認ができたり、歩きながら会話が生まれ、住民同士が顔見知りとなるなど地域への愛着、多世代交流に寄与することができました。

特定非営利活動法人太陽グループボランティアチーム

助成金額 300,000円 ボランティアを通じた各分野での社会貢献活動

新型コロナ禍以降、活動件数は減少傾向にありますが、実施した少年野球大会や養護園の花火大会、スキー遠足への招待などのボランティア活動を通じて、子ども達や地域社会とのつながりに貢献しました。

チャレンジドチア北海道

助成金額 231,620円 チャレンジドチア北海道

障がいのある子とない子、そして保護者が一つのチームとなり、チアを通じてイベントやスポーツ大会で札幌市民の皆さんを応援しました。

北海道女子軟式野球連盟

助成金額 200,000円 太陽グループ旗争奪第25回春季北海道女子軟式野球選手権大会兼第33回全日本女子軟式野球選手権大会北海道予選

今大会は総勢約250名の選手登録もあり、また新規チームの参入もあり、継続的な女子野球の活動に対し、多くの皆さまへの周知ができていると実感しています。今後も女子軟式野球発展にもご期待ください。

特定非営利活動法人さっぽろ時計台の会

助成金額 137,500円 札幌市立小学校4年生全児童等への社会科の副教材「札幌市時計台 なぞ! ふしぎ! 探検」冊子配布及び普及啓発事業

平成30年度より、「札幌市時計台(旧札幌農学校演武場)創建140周年記念事業」の一環として、次世代の児童等を対象に、歴史及び文化の継承を願うために実施してきました。令和3年度からは、小学4年生の社会科の授業の副読本として利用されています。今年度は、札幌市立小学校203校(分校含む)に対し、計17,410部を配布しました。

ガールスカウト北海道第17団

助成金額 80,000円 自然体験活動を通して、少女と若い女性一人一人が持つ可能性や能力を社会の中で生かす自己肯定感向上事業

地域の親子を対象に、ウォーターアクティビティやフォトラリー、キャンプファイヤーを開催しました。子どもたちは、楽しみながら、自分で考え行動する力、リーダーシップ力等を養うことができました。

札幌市ACSネットワーク事務局

助成金額 20,000円 第11回札幌市ACSネットワーク市民フォーラム「心臓救急2023」

栄養士より心疾患予防(食事～減塩)、救急隊より救急体制(突然の胸痛時の対応)、医師より心臓の病気について市民に学んでいただく講演会をオンラインで開催いたしました。

特定非営利活動法人北海道心不全医療連携アカデミー

助成金額 500,000円



地域住民に対する心不全予防に関する啓蒙・啓発活動を通じた健康寿命延伸事業
近年、健康長寿を妨げる心不全が激増していますが、心不全は自己管理で予防できる病気です。当法人では市民参加型イベント「心不全撲滅宣言2023」をチカホで開催し、200名超の来場者が健康講座/相談会を通じて心不全に対する理解を深めました。

一般社団法人ファミリー支援INV協会

助成金額 350,000円



ファミリー支援員養成と地域共生社会を実現するネットワーク構築事業
フィンランドのネウボラ視察を通じて子ども虐待防止に貢献する取り組みを実施。連携の理想的な座組が形成され、日本全国への普及が期待されます。ホームページと報告書は受調関係者らへ配布及び北海道の推薦を受け内閣総理大臣表彰事業、内閣府特命担当大臣表彰調書にて報告しました。

特定非営利活動法人 ニルスの会

助成金額 112,537円



「農体験」と「マルシェ」を通じた「地域共生社会」の実現
「ニルスファーム」の運営を通して、高齢者の健康づくり・生きがいがづくり、および隣接する保育園の園児との多世代交流を目的に活動しています。マルシェでは、ファームで採れた野菜や果物を販売しています。

一般社団法人北海道健康医療フロンティア

助成金額 91,000円



道民生き生き第16回大会
2023年10月22日(日)、かでる2・7で大会を開催。スローガンは「今、あなたと共に生きるフロンティア・北の大地から」。講師は北海道大学大学院医学研究院整形外科学教室教授 岩崎倫政氏、オテル・ド・ミクニ オーナーシェフ 三國清三氏。そして、日本笑い学会北海道支部長・医師の伊藤一輔氏。

さっぽろレインボープライド実行委員会

助成金額 500,000円



LGBTパレード開催を通じて、性的マイノリティ当事者の抱える諸問題(存在の否定・孤立・社会制度上の不平等)の解消に関する事業
本事業は、札幌市拠点にLGBTQを含む性的マイノリティの人たちが自分らしく生きられる社会を目指して「LGBTQについて知らせる」「LGBTQのつながりを作る」「LGBTQから社会を変える」の3つを軸に、広く多様性を訴えるための取り組みを実施しました。

特定非営利活動法人 消費者支援ネット北海道

助成金額 300,000円



成年年齢引下げに伴う若年者向け消費者被害防止のための事業
さぽーとほっと基金の助成を受け、令和5年度は若年者に焦点をあて、大学生向けの消費者被害防止の講座と消費者からのトラブル通報の受付を行いました。大学生向け講座では、事前に学生に消費者トラブルのアンケートをとり学生の要望を踏まえた講座内容を組み立て、関心をもってもらう資料内容など工夫をこらしました。

NPO北海道ネウボラ

助成金額 500,000円



こどもまんなか札幌市版ネウボラ事業
妊娠期から切れ目のない家族支援。0.1.2歳赤ちゃん子育て家族のための赤ちゃんひろば。おしゃべり、子育て・発達相談、子育てに関するためになる講座も開催しています。
・youth+豊平ネウボラ★MamMamステーション
・手稲みらいつくりネウボラ★MamMamステーション
・はるにれネウボラ★MamMamステーション
・北大前ネウボラ★MamMamステーション
4施設において開催しています。

特定非営利活動法人みつばちの小さな喫茶店

助成金額 133,688円



高齢者に介護保険適用外の外出送迎付き添いサポートサービスを提供する
子どもと離れて暮らす両親が介護施設に入居し、通院の送迎付き添いサポートを求めています。施設や介護保険では対応できていません。本事業では、介護保険適用外の通院の送迎付き添いを支援しました。団塊世代が後期高齢者になるので支援が求められています。

劇団HASCAP(ハスカップ)

助成金額 110,432円



劇団HASCAP定期公演
私たちは知的障がいをもった青年が通う「チャレンジキャンパスさっぽろ」という福祉施設の劇団です。11月11日・12日にやまびこ座でミュージカル「おおーい!ともだち!!」をたくさんの方々が見てくれる中で公演することができました。

北海道の労働と福祉を考える会

助成金額 245,364円

路上生活者及び生活困窮者の支援、生活相談及び交流のための炊き出し事業

月に1回ベースで炊き出しを実施しました。路上生活者や生活困窮者の皆様のニーズの高さをあらためて感じました。また本事業に多くのボランティアにご参加いただいたことも、市民に向けた貧困問題にかかわる啓発活動にもなりました。

札幌インストラクターガイド

助成金額 440,000円



子育て親の「学びたい」と講師の「伝えたい」をつなぎ生涯学習を広げる事業
家庭の教育力向上を目的とした子育て親向け講座情報冊子の作成・配布や講座の体験イベントで生涯学習を促進し、地域コミュニティの学び活動を支援しました。

札幌キノコの会

助成金額 200,600円



札幌近郊のキノコに親しみ、行政や研究機関等と協力して食の安全を目的とした研修・キノコ展を開催し、自然尊重、環境保全を目指す事業
札幌キノコの会は札幌近郊のキノコを収集しきのこ展を開催。展示パネルが老朽、基金の助成金で展示パネルと、キノコクリアファイルを作成、写真、キノコの展示が見易い、ファイルも可愛いと好評、助成に感謝します。

特定非営利活動法人
ホッカイドウ・アニマル・ロー

助成金額165,800円

人と動物(ペット)が安心して生活するために必要な
責務等の学びを共有し、対話を通じて持続可能な
共生社会の課題と向き合う事業

今回はペットの家族化をテーマに「学び・対話・交流」をメインに、セミナーとワークショップから参加者様と共有する機会を実施しました。今後も、適正飼養・終生飼養の啓発から共生社会に繋がる活動をいたします。



特定非営利活動法人あえりあ

助成金額142,433円

「美味しい」「楽しい」から、自然に介護・福祉に触れられるマルシェを開催

福祉や介護は、全ての市民に関係のあることであるが、直面しないと自分ごとにならない分野。だからこそ、楽しみながら、いつの間にか福祉や介護にも触れちゃう「あえりあマルシェ」を開催し、476名が来場しました。



北海道NGOネットワーク協議会

助成金額110,000円

北海道国際協力フェスタ2023

今年は「人権」をテーマに開催。オンラインプログラムではウクライナ、ミャンマーの現状についてゲストを迎えて伝えてもらい、3年ぶりの地下歩行空間での対面開催では、北海道の国際交流・協力団体が自分たちの活動を紹介しました。



一般社団法人清田区風の谷協働研究ラボ
(きよたKAZEラボ)

助成金額109,500円

最新知見に基づくキツネとの
付き合い方啓発事業

市内のキツネ出現頻度増加の中で、キツネとエキノコックスの正しい知識周知の専門家講演会を区民センター及び美里町内会で開催しました。また、市民参加型キツネ出現状況調査及び子育ての場向け啓発ポスターの作成を実施しました。



分野指定：文化・スポーツ・観光・経済等の振興

一般社団法人北海道二期会

助成金額200,000円

北海道二期創立60周年記念
シリーズ・煌めくオペラ～演出家・
岩田達宗の～女はみんなこうしたもの

創立60周年を迎える当会が、今までに取り組んで参りました思い出深い作品を中心に、魅力的なオペラシーンの数々を演奏いたしました。公演は最高の歌とパフォーマンスで多くのお客様に喜んでいただきました。



さっぽろ市民ミュージカル実行委員会

助成金額200,000円

第17回さっぽろ市民ミュージカル
「ノロウェイの黒うし」

今年度は「ノロウェイの黒うし」という「愛、平和、赦し」等のテーマを持ったオリジナル作を選定。公演後の感動と市民参加者達の笑顔は本事業の「まちづくり」について一番大事な活動の証になり得たと考えています。



特定非営利活動法人 札幌歩こう会

助成金額200,000円

第27回北の都札幌ソーデーウォーク

ウォーキングが身体ともに健康寿命促進に効果をもたらすことを実感してもらうことを目的として開催。本年から初めて、障がい者もそうでない方も一緒にウォーキングしていただき、札幌市の都市部と自然が融和している魅力を感じてもらえるような大会を目指しました。



北大白銀祭実行委員会

助成金額77,004円

第3回北大白銀祭

北海道大学の中央ローンにて雪景色を活用した様々な企画を実施しました。メインイベントのプロジェクションマッピングや、LEDライトアップなどに加え、飲食屋台やスノードーム作り体験コーナーなどを設けました。



北大金葉祭実行委員会

助成金額0円

第12回北大金葉祭

北海道大学札幌キャンパスの魅力向上と地域内外への情報発信、ならびに学生・地域住民・観光客の交流促進を目的とする事業です。いちよう並木の黄葉が特に美しい10月末に、ライトアップと各種屋台の出展を行いました。



分野指定：子どもの健全育成

特定非営利活動法人ジャパン・ドリーム・アーツ

助成金額500,000円

小中学生のためのジュニア・マーチングバンドのクラブチーム
『The cool roses Jr.』運営事業

少子化により楽器に触れる機会が減っている子どもたちのために、その機会を創りたいとの想いから始まり、多くの子どもたちに参加頂く事ができました。今後は、部活動の地域移行の受け入れができるようにしていきます。



ちびぽっく

助成金額346,370円

おえかきで、ひろがる笑顔！
社会があかるくなるプロジェクト

つながろう！みんなとアートでココロもまんなる！ちびぽっくは、汚れる・散らかる・でも楽しい遊びをコンセプトに厚別区で小学生を対象に活動しています。今年度は、つながりを意識したアートワークを行うことで、作品を通じて心のつながりを創り出していきます。



一般社団法人North-Woman

助成金額167,041円

親子キャリアスクール
『Mirai-Sapporo』

起業体験を含め、多様な職業や活動をしている方のお話を聞いたり、職場を見学する事で多様な働き方、活動がある事を知ってもらう事ができました。保護者と一緒に受講する事で、こどもの将来の働き方について考え、話すきっかけにいただきました。



特定非営利活動法人
北海道CAPをすすめる会

助成金額93,630円

学校と地域と家庭で～子どもを暴力から守る～事業

CAP(キャップ)(子どもへの暴力防止)おとなワークショップを家庭教育学級やPTA研修など、希望する5団体に実施しました。子どもの力を信じて支援するためにおとなができることや社会問題となっている子どもへの性暴力防止についても情報提供しました。



子どもの笑顔 未来プロジェクト 先輩の風

助成金額0円

文科省、厚労省、経産省が連携して
推奨しているキャリア教育制度を
札幌市でもいよいよスタートさせたい！

子どもたちの生きる力を育成する観点から、学校での学びと社会との関連性を教え、学習意欲の向上と学習習慣を確立させます。

冠基金:株式会社宮川建設こども基金

厚別少年野球協議会

助成金額335,000円

厚別少年野球協議会40周年記念事業
厚別区小学校対抗大運動会

つどいにて、厚別区内の小学1年生から6年生の子どもたちを対象に大運動会を開催しました。スポーツ離れの子どもたちに、スポーツを始めるきっかけとしてもらい、スポーツの楽しさを学んでいただきました。

冠基金:あおぞら銀行札幌支店60周年記念 まちづくり応援基金

トリプルアイ

助成金額150,000円

盲導犬啓蒙イベント

盲導犬パネル展(札幌市障がい福祉課事業管理係後援)及び受け入れ方法を実践する出前講座を2金融機関(遠軽信用金庫中央支店、あおぞら銀行札幌支店、参加者65人)で開催。特に後者は参加者の満足度100%でした。



冠基金:北ガス 札幌市を元気に!まちづくり応援基金

北海道カーリンコン協会

助成金額140,000円

ウイズコロナの対策を講じながら、ユニバーサルスポーツ「カーリンコン」の魅力伝え「笑顔」と「交流」の輪を拡げ、地域を元気にする事業

市内各区(清田豊平・手稲・厚別)において、地域に「笑顔」と「交流」をモットーにカーリンコン体験セミナー及び交流会を開催しました。関係団体などのご支援ご協力を賜り、盛況に終えることができました。



冠基金:道路工業株式会社 夢クリエイト基金

Yukikaze Technology

助成金額500,000円

高校生が主催する札幌市内の
小中学生向けロボット等制作講座

本事業では、国際ロボコンに出場する高校生が、市内の小中学生に向けて、数十回に渡るロボット等制作講座を実施しました。また、事業の一環として、小中学生チームがロボコンに参加し、世界大会で入賞を果たしました。



NPO子ども達による
「花いっぱい健康な町づくり」

助成金額25,345円

NPO子ども達による
「花いっぱい健康な町づくり」

子ども達と、一輪の花との出会いから生まれる物語なのです。美しい花に出会った子ども達の純真な心の輝きが、お花とお手紙のプレゼントを受け取ったお年寄りの心に喜びを届けます。その喜びの笑顔を見た子ども達が人を喜ばせる事の楽しさを体験致します。その子ども達の笑顔が、私達に忘れていた大切な何かを思い出させてくれます。



冠基金:札幌生コンクリート協同組合こども育成基金

おとなりSMILE実行委員会

助成金額120,414円

病気と闘う子ども達の為に
クリスマスカードを贈ろう

小児がんなどの難病を患う子どもやその家族の支援をしています。広く市民の皆さんに活動を知ってもらうためのイベントを開催し、市内小児病棟へクリスマスカードやプレゼントをお贈りしました。



どさんこスポチャンクラブ

助成金額123,909円

地域で支え合うコミュニティづくり
『こどもの居場所づくり』

スポーツチャンバラ(通称:スポチャン)を通じて、地域の親子が集まり、交流を深めることで、地域の活性化にもつながりました。子どもたちはスポチャンから礼儀や仲間意識、コミュニケーション能力、達成感などを養ってもらうことができました。

冠基金:さくら佐藤建設株式会社 夢 みんなのまちづくり応援基金

新琴似音楽祭実行委員会

助成金額306,202円

新琴似音楽祭

地域を元気にする音楽イベント「新琴似音楽祭」は今年で開催9回目を迎えました。出演者はゲストのみとなりましたが、キッチンカーによる飲食ブースも再開し、地域内外の多くの皆様に楽しんで頂くことができました。



冠基金:エスエー こども応援基金

SKIP

助成金額128,000円

Sapporo Kids yoga Project SKIP
～カラダ・ココロ・生きる力を育む～

私達は今年度、キッズヨガ定期クラス運営、子ども主体のやりたいを叶える「SKIP祭り」開催、ダイヤモンドクラスとして食育、日本の文化の「味噌作り」、子ども達と共に作り上げる「スポーツフェスタ」を行いました。



札幌人形劇協議会

助成金額250,000円

人形劇フェスティバル2024年
さっぽろ冬の祭典

市内のアマチュア人形劇団等がより良質な人形劇を提供しようと、年に1度合同で大規模な作品創りに取組んでいます。42回目となる今回は「ひとりぼっちの狼と七匹きのこやぎ」を生演奏と共に上演し大好評でした。



「和の心を子ども達へ、未来へ！」実行委員会

助成金額 450,000円



「和の心を子ども達へ、未来へ」ワークショップ&舞台実施事業

夏休みに3日間、2月の連休に2日間和芸や和楽器の体験ワークショップを行い、最終日に講師と子ども達との合同での発表公演を行いました。夏、冬合わせて延べ130人の参加者があり大いに盛り上がりました。

さっぽろ将棋普及の会

助成金額 248,180円

将棋を指す場の創出と子どもの可能性を引き出す親子教室事業

当会では、将棋を指す場を作り出し、多世代交流も促進できることを目的に様々な活動をしています。今回は助成を受けて、将棋の歴史講座を軸に将棋教室を開催しました。年齢問わず、市民の方に参加いただきました。



特定非営利活動法人北海道歩くスキー協会

助成金額 112,104円



第49回道民・札幌市民歩くスキーの集い兼第10回滝野公園クロスカントリースキー記録会

2月23日国営滝野すずらん丘陵公園つどいの森で開催。記録会の部17km、11km、6kmの順番、その後、歩くスキーの部11km、6km、3kmの順番でスタート。前日の降雪でコースコンディションも良好、天候にも恵まれ、非常に良い大会でした。

一般社団法人 福祉システム北海道

助成金額 500,000円



福祉分野における異業種専門家のスキルをケア教育に活かす事業

多様な専門家をお招きして、主に福祉関係者が活用できる知識や技術を学ぶ講座を開催しました。インタビュー質問形式にて講師、参加者ともにリラックスした状況で、学びが提供できる環境を整備しております。

ピンクリボン in SAPPORO

助成金額 200,000円



ピンクリボン in SAPPORO 2023

9月24日チカホにて開催。ステージではファイターズOB谷口雄也さんのトークショーや音楽ステージ、ミニ講演を行いました。また会場では、1,000名以上の方に啓発リーフレットを配布し、手作り作家マルシェも行われ、楽しみな夏が乳がん検診の大切さを発信しました。

ハンディキャップシアターShow Time

助成金額 100,000円



ハンディキャップシアターShow Time公演

私たちは知的障がいをもった青年が集まり結成した劇団です。「ジェットストリーム」「居残り授業2023」「海の男2023」の演目をリフレサッポロライラックホールで公演しました。たくさんの方々の笑いに包まれた公演でした。

札幌市東区文化団体協議会

助成金額 308,274円



「第36回記念邦舞まつり」の開催

伝統芸能を継続することは大変なことで、特にお金がかかります。さらに、レベルを上げるためには舞台が必要であり、観客なしでは夢を与えることもできません。東区文化団体協議会の会員は芸術を求めて邁進しております。

座・れら

助成金額 230,000円



劇作家・山田太一作品を通じて考える超高齢社会と生きることと死ぬこと

山田太一『林の中のナポリ』の上演と「語る会」を通じて、人のかなしみとよろこびをていねいに抱き上げる山田作品に触れ、超高齢社会における人の生き方などを、参加者の皆さまと考えることができました。

札幌ハムプロジェクト

助成金額 400,000円

札幌ハムプロジェクト本公演・演劇事業「アホロートルの叛逆」

「アホロートルの叛逆(2022年初演)」は精神病院閉鎖病棟を舞台に、現代社会における我々の闇を切り取った内容となっており、総勢330名近くの観客から好評を得ました。

特定非営利活動法人 農村と都市を結ぶ応援団

助成金額 200,000円



子供が体験を通して北海道の歴史と農業を学び理解を深めることへの応援事業

「親子で学ぶ農業・体験ツアー」では、南区の農家さんでさくらんぼなどの収穫や南区民センターでさくらんぼの加工を体験し、「農業・農村ふれあいフェスタin赤レンガ(道庁赤レンガ前庭)」では、北海道農産物などのパネル学習やミニ農業体験(米の脱穀、小麦粉づくり)をすることで北海道農業を理解していただきました。

おもちゃクリニック

助成金額 200,000円



おもちゃクリニック活動の拡充

おもちゃの修理数は年間1500件位ですが、少しでも地域の要望に沿うよう努力しているところです。皆さまからのお心遣いをいただきながら活動の継続をしておりますので、これまで同様よろしく願いいたします。

北野地区町内会連合会

助成金額 450,000円

地域の花火大会を大切にしていきたい～「北野ふれあい夏まつり・花火大会」

周辺地域からも多くの方が集まり、花火大会を盛大に実施することができました。お子様から高齢の方まで誰もが楽しめる花火を継続して実施できることは地域の誇りであります。多くの方のご支援により最高の花火大会を開催できたことに感謝いたします。



特定非営利活動法人三角山

助成金額 350,000円



第10回いっしょにね!文化祭

障がいのある人もない人もいっしょに楽しむ発表会「いっしょにね!文化祭」。リモート出演やオンライン配信を加え、多くの方々が文化祭に参加できました。外出が困難な方も在宅で文化祭に参加でき、広がりを見せています。

特定非営利活動法人 北のごみ総合研究所

助成金額 200,000円



お家のお片づけ連続講座事業

高齢化社会で問題となっているお家のお片づけについて、ごみ減量やリユース・リサイクルの専門家を講師に「プロから学ぶお家のお片づけ連続3回講座」を7月と11月の2回開催し、多くの市民に参加頂きました。

N1モードグランプリ実行委員会

助成金額 450,000円



第14回N1モードグランプリ2023

デザイナーを志す人材発掘・育成を目的に開催。ファッション画コンペティション(テーマ:フリー)の応募総数342点の中からグランプリ・北海道知事賞・札幌市長賞・札幌教育委員会賞・北海道新聞社賞・ライブプロ賞が発表されました。

特定非営利活動法人 北海道ライフスポーツ推進協会

助成金額 363,259円



小学校スキー授業応援キャラバン

小学校のスキー授業へスキーインストラクターを派遣することで、先生の負担軽減と授業の安全開催を目的として実施いたしました。事故無く内容の濃い授業ができ、多くの子どもたちに楽しくスキーを行なっていただけ、問題解決に寄与する事ができました。

特定非営利活動法人 レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク

助成金額 100,000円



親亡き後を生きるひきこもり当事者の老後を支え合う事業

賛同10団体による「ひきこもりの老後を支え合う連絡協議会」を組織化しました。8月27日(日)に演題「ひきこもりの可能性についてーみんなで寄り添い合ってできることー」を柱に開催、定員を超える50人が参加し注目を集めました。

一般社団法人ホリスティックケア協会

助成金額 329,347円



心のケアを自分で行い楽観脳を創る「キラリノート」を社会と学校に普及させ、子供達にメンタルの整え方を教授し心の成長と進化する力を育む事業

キラリノートとは、心のメンテナンスを自分で行うことを目的とした書き込み式ワークブックです。簡単な質問に答えるだけでなく、不安や怒り等の感情の整理を行います。それだけではなく、自分に合った仕事、得意なことや強み能力を見出す事もでき、計画をたて夢の実現を行える、トータル的に心の進化を促す事業です。

NALC(ナルク)札幌

助成金額 200,000円



文化祭とサロン交流会 一生涯学習をとらして認知症予防と健康寿命をもっと延ばそう!

シニアサロンさくらんぼの文化祭とサロン交流会「認知症予防と健康寿命をもっと延ばそう」のスローガンで、ミニ講演・男声コーラスの歌・更にピンコロ劇団による笑劇の内容で、122名の地域の方々の参加を得て、盛大に開催でき楽しい思い出に役立ったことと思います。

一般社団法人 北海道被爆者協会

助成金額 500,000円

被爆の実相を後世に伝えるDVD作成事業

原爆のすさまじさと非人道性、絵本「北の里から平和の祈り」の朗読、そして作者の思いと被爆者からのメッセージ。次世代を生きる子どもたちに送る24分半のDVDを作成。市民サークルの学習会にも使えます。



特定非営利活動法人 道産子ヒーロープロジェクト

助成金額 397,853円



道産子ヒーロー・ソーランドラゴンや忍者の教育巡業事業

各種出前授業&教育出演が24回、PR出演1回、自主企画2回(造形ワークショップ、春休みさあ忍者を知らうイベント)、合計27回の出演を実施できました。コロナ禍を抜けほぼ想定通りの活動が久々にできました。

フェアトレードフェスタinさっぽろ実行委員会

助成金額 194,842円



photo BRANCHES 山崎校里子撮影

フェアトレードフェスタ in さっぽろ2023

ー平和で公正な地域と地球のためにー 2023年6月24・25日(土・日)の2日間、札幌市民交流 プラザSCARTSモールにフェアトレードに関わる23店舗・団体が出展し、SCARTSモールで講演会を実施、高大生約100名が、ミニインターンやスタッフとしてイベントを支えました。

NPO法人ドリームキッズチャレンジ

助成金額 500,000円



コロナの影響でスポーツを始めるきっかけを失った子どもたちへの北海道初のマッチング型少年野球大会イベント「SUNYONBASEBALL大会」事業

北海道初マッチング型少年野球イベント「SUNYON BASEBALL大会」を開催。コロナの影響でスポーツやコミュニティに触れる機会を失った小学3・4年生の子どもたちにとって「スポーツを始めるきっかけ作り」と「つながりの輪」を広げる場となりました。

Hokudai Food Bank

助成金額 221,024円



Hokudai Food Bankによる就学援助または生活保護を受けている世帯の子ども達のためのフードバンク活動

企業で出る食品ロスの寄付を受け、札幌市内の生活に困窮している子どもたちに届けています。企業と地域貢献団体の橋渡しや、子どもたちに食品ロスやフードセーフティネットについて知ってもらう食育活動を行っています。

一般社団法人 hug cafe

助成金額

188,506円



hug*cafe Project

オンラインと対面にて、親子で楽しめる多数のイベントを開催。子育て中でも学べたり挑戦をしたりできる場や、育児の楽しさ・辛さを共感し励ましあえる仲間作りのきっかけを提供しています。

一般社団法人手稲まちづくりネットワーク

助成金額

100,000円



放課後に自由にほっとして過ごせる居場所づくり事業

子どもが、見守る地域の大人とつながりを持ち、自然に次世代の地域を担う大人へと成長することを目的に、勉強支援、夕食提供、自由遊び、おやつ作り、イベント（お楽しみ会等）の自主企画や支援者との交流をしました。伸び伸びと安心して過ごし楽しい思い出を共有できました。

冠基金:CGCこども基金

特定非営利活動法人
猫と人を繋ぐツキネコ北海道

助成金額

193,000円



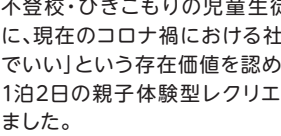
親子と猫のボランティア体験

この事業はさぼーとほっと基金助成金を活用して2015年度から継続しています。2023年度は23組54名の親子に、講師の獣医師による保護猫の診察体験や保護猫施設の清掃へ、一生懸命頑張って参加していただきました。

特定非営利活動法人
なごみ

助成金額

170,000円



不登校・ひきこもり児童生徒が社会と繋がることへの第1歩を少し後押しする事業

不登校・ひきこもりの児童生徒が一歩自分から踏み出せることを目的に、現在のコロナ禍における社会的ニーズを汲み取り、「居てくれるだけでいい」という存在価値を認めてあげる居場所づくりを行っています。1泊2日の親子体験型レクリエーションやオンライン体操教室を開催しました。

冠基金:イオン環境基金

一般社団法人相互支援団体かえりん

助成金額

417,986円



おさがり交換会開催と
コドモフリマ会場併設

毎回好評のおさがり交換会の会場に併設し、新しく「コドモフリマ」を開催。子ども達が自身の不用品が誰かの必要なものになる（リサイクル）という事を体感する場を設け、次世代にSDGSを推進しています。

特定非営利活動法人
北海道環境カウンセラー協会

助成金額

100,000円



伝えます！エコのコツ
～環境カウンセラー活動紹介
パネル展とミニ・ワークショップ～

環境に配慮した活動への知識・ヒントを伝えるため、幅広い分野で活躍している環境カウンセラーの実践を紹介したパネル展と、二酸化炭素を知ることやミズゴケを通じた湿原再生を学ぶミニワークショップを開催しました。

エシカルンテさっぽろ
(旧ナチュラルスクールランチアクションさっぽろ)

助成金額

95,803円



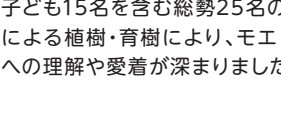
「未来につながるエシカル藍染プロジェクト」
親子で楽しむ農作業と藍染め&
ハーブ利用の体験講習会

皆さまのご支援のおかげで、親子が農業体験や藍染め、藍料理を通じて、自然との共生や生命の循環を楽しく学ぶ場を提供することができました。持続可能な未来への意識を育む機会をいただけたことに、心より感謝申し上げます。

特定非営利活動法人
モエレ沼公園の活用を考える会

助成金額

244,682円



モエレ沼公園の未来に繋げる
美しい森づくり事業

子ども15名を含む総勢25名の家族にご参加いただきました。親子参加による植樹・育樹により、モエレ沼公園の環境が改善され、市民の公園への理解や愛着が深まりました。

テーマ指定：東日本大震災被災者支援

特定非営利活動法人
福島の子どもたちを守る会・北海道

助成金額

500,000円



～親子ですぐ夏休みin北海道～

7月26日～8月1日。5家族16名の親子を受け入れました。コロナが5類となったが全員抗原検査で陰性を確認して保養にあたりました。親も子ものびのびも体も満タンになりました。「帰っても頑張れる」とメッセージが残されていました。

森の時間 SNOW HOKKAIDO
日本風呂敷文化～包～

助成金額

300,000円



心灯す竹あかりプロジェクト2023

心灯す竹あかりの中で震災について語り、体験談で涙し、今自分たちは何が出来たかを一緒に考え、風化させず語り繋ぎ未来を希望あるものにしていくトークライブが出来ました。今後も続けていく価値はあります。

東日本大震災復興支援
「子どもを守ろうよ」の会

助成金額

250,000円



第14回東日本大震災復興支援
「子どもを守ろうよ」の会公演

岩手県の被災者と福島県から避難し市民となった人々との交流を通して、文化芸能という形でメッセージを伝え、東日本大震災がもたらしたものの、又平和について市民が改めて考えるきっかけを作る公演です。

テーマ指定：新型コロナウイルス感染症対策市民活動

特定非営利活動法人ねっこぼっこのいえ

助成金額

2,000,000円



新型コロナウイルス感染症によって失われた交流ひろばの多世代性と多様性を取り戻し、育児や生活面の協力者を得にくくなった家庭をサポートする事業

ひろばに人々が訪ねやすくなる工夫や企画を実施し、コロナ後の地域の居場所の多世代多様性の再構築を試み、多様な人々だからこそ生み出される支え合いの充実をはかりつつ子育て家族のサポートとして一時預り事業を立ち上げました。

特定非営利活動法人 たすけ愛ふくろう清田

助成金額

820,000円



出前サロン開催により、地域交流
サロン再活性化に繋げる事業

地域住民が気軽に集い、元気で活き活きと過ごせる居場所の復活を目指し実施しました。「太極拳」「ふまねっと」「ヨガ」など体操系と、「うたごえ喫茶」に多くの関心が寄せられ、サロンへの新規参加にも繋がりました。

特定非営利活動法人os Forward

助成金額

500,000円



生活困窮者等に対する、住居の確保から
自立までの一体的な支援

住む家が無い等の生活困窮者の方を対象に、月に1回60食の炊出しを行うとともに、1週間に3回お弁当の配布を行いました。用意していた食数は毎回すぐに無くなるほど、沢山の方にお越しいただきました。私たちの活動も多くの方たちに周知することができました。

スタートアップ助成事業

ユアセル

助成金額

46,469円



食で知る・つながるプロジェクト

社会福祉協議会の後援もあり、地域の高齢者や社会福祉協議会の若手職員の参加で小学生から高齢者まで幅広い層での交流が実現。在日韓国人による韓国の食文化やマナーを学び異文化への関心を高めることができました。弁当作りでは食材の正しい調理法や食べ方を学び食から健康意識を高めることができました。

札幌アートコミュニケーターズ

助成金額

34,963円



アート鑑賞サポートプログラム
～アートと市民をつなぐ交流の場をつくる～

今年度は、美術館主催の企画展やイベントへの来館者を対象に、対話によるアート鑑賞や紙のフレームを用いた鑑賞方法の提示、ガイド映像作成などをおこないました。参加者、主催者側双方から今後の活動につながる励ましをいただきました。

テーマ指定：北海道胆振東部地震被災者支援

一般社団法人日本風呂敷文化協会

助成金額

300,000円



命を守る一枚の風呂敷

一枚の風呂敷でコミュニティを生み、文化伝承や人、まちづくりの為、市内区民センターで防災風呂敷講座やイベント、風呂敷CLUBを通年開催し、人と人、まちを繋ぐ活動を継続できました。

特定非営利活動法人
コミュニティワーク研究実践センター

助成金額

1,883,058円



心豊かに
「ゆったり子育て」サポート事業

当団体実施の「子育て LINE 相談」においてコロナ禍の閉ざされた環境の中で、子育ての不安やストレスなどから子への対応に悩む相談が多いです。親に寄り添った事業を展開し心豊かに子育てできるようサポートしました。

一般社団法人 札幌YWCA

助成金額

550,000円



コロナ禍における音楽家支援と
セーフスペースを提供するコンサート事業

Y's Caféと壘(カフェ)実施したコンサートは、音楽家の支援ができ、参加者にはゆったり音楽を聴き癒しの時を提供し喜ばれました。助成金により充実したプログラムとなったこと心より感謝いたします。

学生団体wacco

助成金額

0円



北大周辺地域の繋がりを作る
教室と生活支援サービス事業

シニアの出掛けるきっかけを作るイベント開催。コロナ禍でシニアの外出機会が減ったことから、外出のきっかけを作りました。具体的にはVRゴーグルやAIの体験、スマホ教室、留学生との交流、など月に1度行いました。若い人との交流が楽しかったと喜ばれました。

北極星

助成金額

37,800円



知的障がい児親の
ピアサポート活動周知事業

知的障がいを持つ子どもの親同士の支え合い、情報交換活動周知のためパンフレット・ポスターを作成し配布等を行いました。

Lila bounce park

助成金額

34,312円



はじめまして産後ケアさっぽろ

産後ママ(産後1年以内)を対象に、
・バランスボールエクササイズ等の有酸素運動を通して体力づくり
・産後の心身について知る
・ママ同士の交流
・リフレッシュ効果
を目的とした講座を開催しています。

21

22

寄付の実績

寄付金合計 1,519件 65,905,435円

■指定区分別

団体指定	201件	11,075,004円
分野指定	38件	4,609,944円
新型コロナウイルス感染症対策市民活動	1件	5,000円
その他の災害被災者支援	1件	28,800円
冠基金	15件	13,810,000円
後日指定	9件	12,110,649円
指定なし	1,254件	24,266,038円

■寄付者別

個人からの寄付	1,428件	33,222,662円
企業・団体からの寄付	91件	32,682,773円

助成の実績

助成合計 130団体(139事業) 47,962,550円

団体指定	55事業	23,829,703円
分野指定		
保健、医療、福祉の増進	8事業	2,043,021円
まちづくりの推進	8事業	1,968,333円
文化・スポーツ・観光・経済等の振興	4事業	677,004円
子どもの健全育成	6事業	1,132,386円
テーマ指定		
東日本大震災被災者支援	3事業	1,050,000円
北海道胆振東部地震被災者支援	1事業	300,000円
新型コロナウイルス感染症対策市民活動	6事業	5,753,058円
スタートアップ	4事業	153,544円

冠基金		
札幌生コンクリート協同組合こども育成基金	2事業	120,414円
株式会社宮川建設こども基金	2事業	458,909円
あおぞら銀行札幌支店60周年記念 まちづくり応援基金	1事業	150,000円
さくら佐藤建設株式会社 夢 みんなのまちづくり応援基金	1事業	306,202円
北ガス 札幌市を元気に!まちづくり応援基金	1事業	140,000円
エスエー こども応援基金	1事業	128,000円
道路工業株式会社 夢クリエイト基金	2事業	750,000円
長内 芸術振興基金	6事業	1,748,558円
新弘設備工業55周年記念 まちづくり基金	3事業	800,000円
株式会社水草工業 こども基金	2事業	400,000円
アリヤス基金	3事業	1,000,000円
北海道循環器病院 子どもさぼーと基金	1事業	200,000円
HRMホールディングスグループまちづくり応援基金	5事業	1,905,954円
ひまわりピアサポート基金	1事業	100,000円
松前孝子こども基金	7事業	1,625,993円
CGCこども基金	2事業	363,000円
イオン環境基金	4事業	858,471円

登録団体

311団体 (令和6年3月31日現在)

寄付者のご紹介

氏名・寄付金額の公表に同意していただいた方々

※公表に同意していただいた方のみのご紹介です。(敬称略、寄付順)

※ふるさと納税ポータルサイトを通じていただいた寄付は、返礼品等の必要経費を除いた金額を掲載しております。

株式会社オーク	5,070,000円	アイ・リンク株式会社	102,525円
札幌市管工事業協同組合	1,120,000円	伊藤 公浩	10,000円
株式会社水草工業	620,000円	株式会社マテック	1,000,000円
佐藤 順一	45,000円	旭イノベックス株式会社	50,000円
田中 生馬	3,500円	武井 崇展	7,500円
菊地 公照	5,000円	衛藤 成幹	7,000円
村瀬 守生	12,000円	門上 大祐	7,500円
深瀬商事株式会社	297,600円	渡邊 拓也	8,000円
Blue Pointer株式会社	500,000円	菅谷 明博	4,000円
武ダGEAD株式会社	1,100,000円	岡 正人	20,000円
株式会社キットアライブ	130,000円	竹本 直人	3,500円
株式会社田中組	100,000円	新國 正史	6,500円
北土建設株式会社	50,000円	土居 有騎	3,500円
宮本 厚子	3,500円	今田 一希	10,000円
角田 元基	5,000円	伊貝 久	3,500円
あんしんネット株式会社	50,000円	長吉 康介	10,000円
松山 明彦	8,000円	金子 由紀	7,000円
福野 泰生	6,500円	新垣 ウィリアムアルバート	12,000円
石田 幸子	10,000円	野口 竜也	5,500円
神野 世津子	5,000円	杉田 竜一	6,000円
長島 慎吾	4,000円	石井 唯史	30,000円
飯島 哲辰	5,000円	佐藤 豪	14,500円
樋口 敬之	10,000円	安藤 重輝	14,500円
森井 良伍	10,000円	三浦 亮	10,000円
坪田 正勝	30,000円	大石 憲司	10,000円
八百坂 康子	30,000円	佐藤 響貴	3,500円
札幌インナーホイルクラブ	500,000円	高橋 和生	7,500円
武友会	500,000円	小柏 伸一郎	3,500円
奥田 貴子	5,000円	柏谷 隆博	3,500円
奥田 慶太	2,400円	浅井 大樹	6,000円
松浦 亨	7,500円	幾野 正光	10,000円
渡海 敦	7,500円	太田 靖彦	5,000円
小林 さわ子	3,500円	伊藤 成紀	10,000円
三浦 智友貴	15,000円	堀内 靖	3,500円
賀来 亨	50,000円	松本 早代	7,500円
株式会社ゆうらく	12,500円	藤本 慎司	10,000円
明治安田生命保険相互会社 札幌支社	1,199,500円	熊田 剛士	5,000円
株式会社ふじ研究所	500,000円	山下 謙二	50,000円
拓友建設株式会社	300,000円	諏訪部 将一	3,500円
名須川 昭範	16,000円	乃一 惇哉	6,000円
北開工営株式会社	1,270,000円	安山 展史	12,000円
ムトウ建設工業株式会社	2,080,000円	李 云峰	5,000円
瀬戸 博章	14,500円	久保 晋一	5,000円
中川 英博	45,000円	越生 浩行	22,500円
河津 朋大	10,000円	株式会社北洋銀行	100,000円
高島 健光	10,000円	齋藤 洋介	5,000円
内芝 良	7,500円	株式会社セコマ	1,000,000円
山下 知輝	7,500円	山脇 一馬	5,000円
斉藤 大介	10,000円	藤木 大三郎	7,500円
五島冷熱株式会社	100,000円	長谷川 建二	12,500円
高橋 銀司	50,000円	山本 真弘	10,000円
株式会社宮田屋珈琲	118,177円	瀬戸 聡明	10,000円
武田産業株式会社	100,000円	近藤 隆二	10,000円

寄付者のご紹介

氏名・寄付金額の公表に同意していただいた方々

※公表に同意していただいた方のみのご紹介です。（敬称略、寄付順）

※ふるさと納税ポータルサイトを通じていただいた寄付は、返礼品等の必要経費を除いた金額を掲載しております。

江角 真治	7,500円	衛藤 圭	7,250円
武藤 良介	3,500円	首藤 優花	9,500円
本瀬 裕樹	5,000円	今市 健太郎	8,000円
関 秀紀	10,000円	熊谷 侑哉	27,500円
篠 雄輝	7,500円	高原 智也	3,500円
大場 史登哉	10,000円	岡宮 和貴	5,000円
ウェバー ジェイコブ見季	8,750円	伊澤 佳奈	4,000円
株式会社エコシティ	100,000円	桑田 輝	6,000円
永井 伸郎	13,600円	梅田 紘道	4,000円
小崎 拓登	3,000円	伊崎 直哉	8,000円
雪印メグミルク株式会社	71,290円	清水 寛正	7,250円
ポッカサッポロ北海道株式会社	329,065円	作野 達哉	7,250円
梅本 貴之	24,000円	関谷 要	4,000円
金子 明美	10,000円	湖城 明浩	7,250円
影山 裕史	14,000円	株式会社札幌副都心開発公社	360,649円
宮間 史明	505,500円	井上 憲一	9,500円
河野 一哉	28,000円	高橋 大士	7,250円
森 忠大	5,000円	岩崎 純一	3,500円
北海道ポラコン株式会社	120,000円	鍋島 崇寛	5,000円
中村 房子	40,000円	イオン北海道株式会社	100,000円
福田 悠介	11,500円	株式会社エネサンス北海道	3,000,000円
株式会社丸新岩寺 湯の郷 絢ほのか	47,538円	札幌日信電子株式会社	1,000,000円
齋藤 恵梨香	10,000円	株式会社宮川建設	1,500,000円
今渡 隆成	80,000円	連 辰徳	6,000円
高田 勇之介	24,000円	畝村 幸成	10,000円
HRMホールディングス株式会社	1,000,000円	笹木 恭平	3,500円
北海道ロードメンテナンス株式会社	1,000,000円	増田 大士	7,250円
ロード機工株式会社	250,000円		
北海道ロード運輸株式会社	250,000円		
大善建設株式会社	250,000円		
ダイワ整備機工株式会社	250,000円		
小田 和人	5,000円		
高野 修司	8,000円		
大久保 由香里	5,000円		
内藤 昇	3,500円		
畑田 一樹	5,000円		
百合野 庸子	5,000円		
小池 紀子	5,000円		
加藤 智也	7,250円		
増田 直仁	22,500円		
佐藤 佳子	10,000円		
竹本 直矢	7,250円		
金子 拓矢	7,250円		
和田 豊	3,500円		
棚川 浩次	9,500円		
灘 大地	7,250円		
金谷 香奈子	10,500円		
勝 健斗	25,000円		
山岡 恵子	7,250円		
寺木 博	7,250円		
幸崎 五張	14,500円		

寄付者のご紹介

氏名の公表に同意していただいた方々

※公表に同意していただいた方のみのご紹介です。（敬称略、寄付順）

アース税理士法人	齋藤 稔	佐藤 久美
松澤 文夫	徳村 愛子	紺野 美和
一般社団法人北海道まちづくり協議会	桑畑 朋子	原 彩華
山角 靖志	中村 維裕規	福原 加奈恵
鵜野 紀彦	森川 大希	永松 慎也
水越 貴俊	阿部 健	高橋 秀治
秋田 由香里	松尾 洋子	高橋 進伍
株式会社竹原鉄工所	朝永 博	木山 圭太
勇建設株式会社	笹 忠裕	吉岡 喜和
新太平洋建設株式会社	二宮 仁志	岡崎 富恵
北海産業株式会社	遠藤 清志	高見 宏
パインツリー株式会社 はりきゅう・きのえ	北星建設株式会社	中野 雄太
大谷 典爵	三徹工業	工藤 かおり
濱地 俊哉	森田 寛之	小林 広徳
後藤 恵美	金森 怜	吉澤 楓花
湯川 靖司	森 政蔵	鷹巣 恵美子
株式会社札幌夜間動物病院	鳥越 日花里	大関 浩二
特定非営利活動法人北の映像ミュージアム	古川 由起子	吉田 誠
LILAC BAKE	阿部 一幸	粒良 隼呉
株式会社APR TRADING	北 幸弘	増山 夕貴
NPO法人ハンズハーベスト北海道	高塚 誠	石川 泰路
西村 隆志	金川 実千代	亀田 祐樹
前谷 茂樹	佐藤 ゆみ子	合浦 百恵
青山 勉	ミニさっぽろ2023実行委員会	日本緑化工株式会社
佐藤 潤	株式会社北日本ドリームズ・札幌	鹿島舗道工業株式会社
畑中 飛海	下野 哲雄	大真エンジニアリング株式会社
加戸 悠貴	栗原 美穂	加藤 広行
親和会 手芸サークル あみちく	美淋 達彦	飯浜 勝雄
村上 守	福地 光	津久井 豊
武藤 征一	佐藤 直人	十河 哲也
長嶺 論明	大友 孝之	ライラック興業株式会社
中原 宏	吉田 信一	株式会社クリーンアップ
大澤 智彦	トラン クォックトゥン	榊原 富美子
山口 愛子	井塚 志遠	佐藤 信之
石川 浩気	桑嶋 英典	
鵜飼 舞	古越 万紀子	
高島 尚之	木下 宏之	
道路建設株式会社	西野 一博	
株式会社わらく堂	久本 千春	
岩田地崎建設株式会社	岩崎 正	
株式会社さきのとや	馬場 暁子	
太田 行信	八巻 涼子	
前田 博文	吉田 進亮	
千葉 法俊	木田 古典	
小川 奈津子	五十嵐 央祥	
小谷 綾乃	本間 未生	
澤村 淳一	鈴木 元美	
吉田 和代	齊藤 栄一	
村中 康平	石川 朱理	
山口 真弓	鈴木 健一	
小原 敏	栗生 久美	
立谷 甲一	宇治 正	
田中 恵介	越川 洋	

市民・事業者の皆様から、
心あたたまるご寄付をいただき、
誠にありがとうございます。

